

# 山陽小野田市 津波ハザードマップ

小野田  
地区

ハザードマップと  
一緒に保管

わが家の  
浸水深は

m

津波ハザードマップに  
関する問い合わせ先

山陽小野田市役所 総務課・土木課・農林水産課  
〒756-8601 山口県山陽小野田市日の出丁目1番1号 TEL:0836-82-1111  
<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/>

発行:山陽小野田市 平成27年12月作成

### 非常持ち出し品チェックリスト

家族で話し合い、必要なものを準備しておきましょう。

- 命をつなぐために**
  - 飲料水
  - 保存がきく食品
  - 常備薬・お薬手帳
- 防災用品**
  - 携帯ラジオ
  - ヘルメット・すきん
  - 軍手・マスク
  - 懐中電灯
  - 乾電池
  - マッチ・ライター
- 医療用品**
  - 包帯・ガーゼ
  - ばんそうこう
  - 消毒液
- 生活用品**
  - 使い捨て食器
  - 衣類・下着
  - タオル
  - 粉おむつ・粉ミルク
  - 生理用品
  - 予備のメガネ・補聴器
- 貴重品**
  - 現金(小銭も必要)
  - 銀行(郵便)通帳・カード類
  - 健康保険証・免許証の写し
  - 印鑑
- 便利用品**
  - 筆記用具、雨具、ゴミ袋、キッチン用ラップ、ウェットティッシュ、使い捨てカイロ、保温シート、ドライシャンプー、石けん、新聞紙、携帯用トイレ

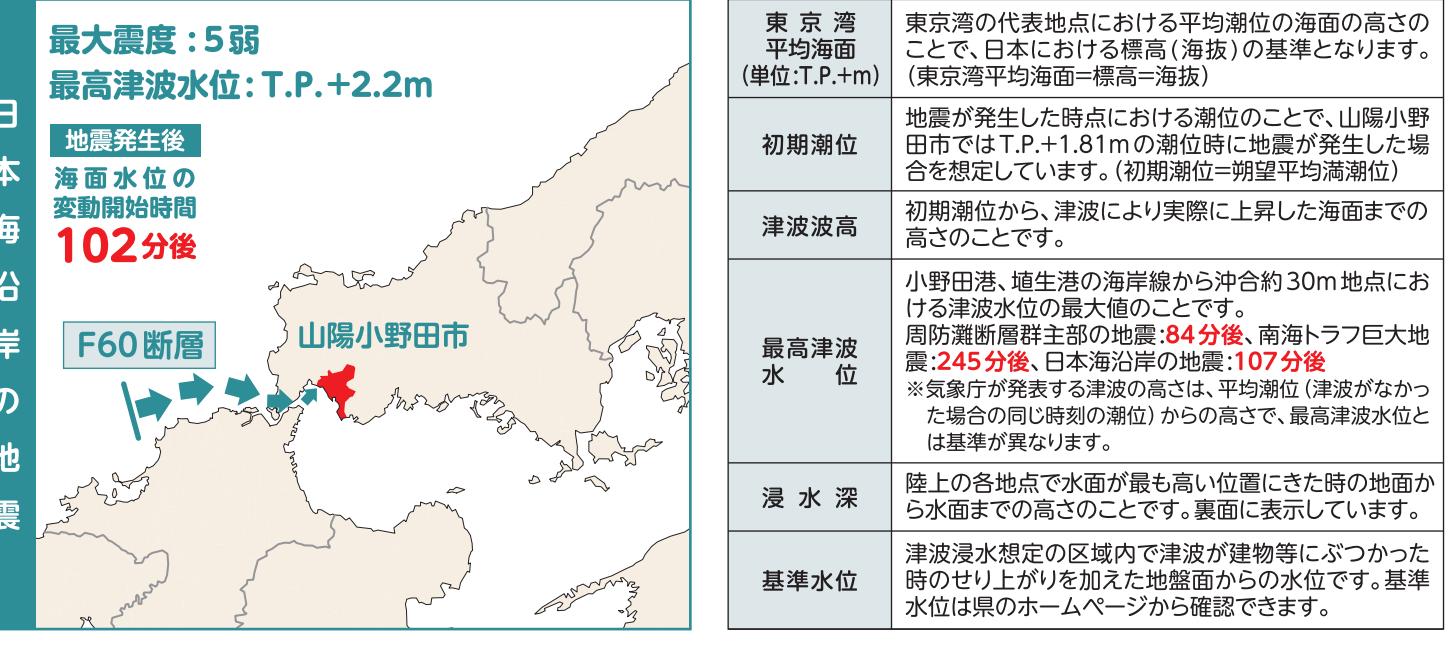
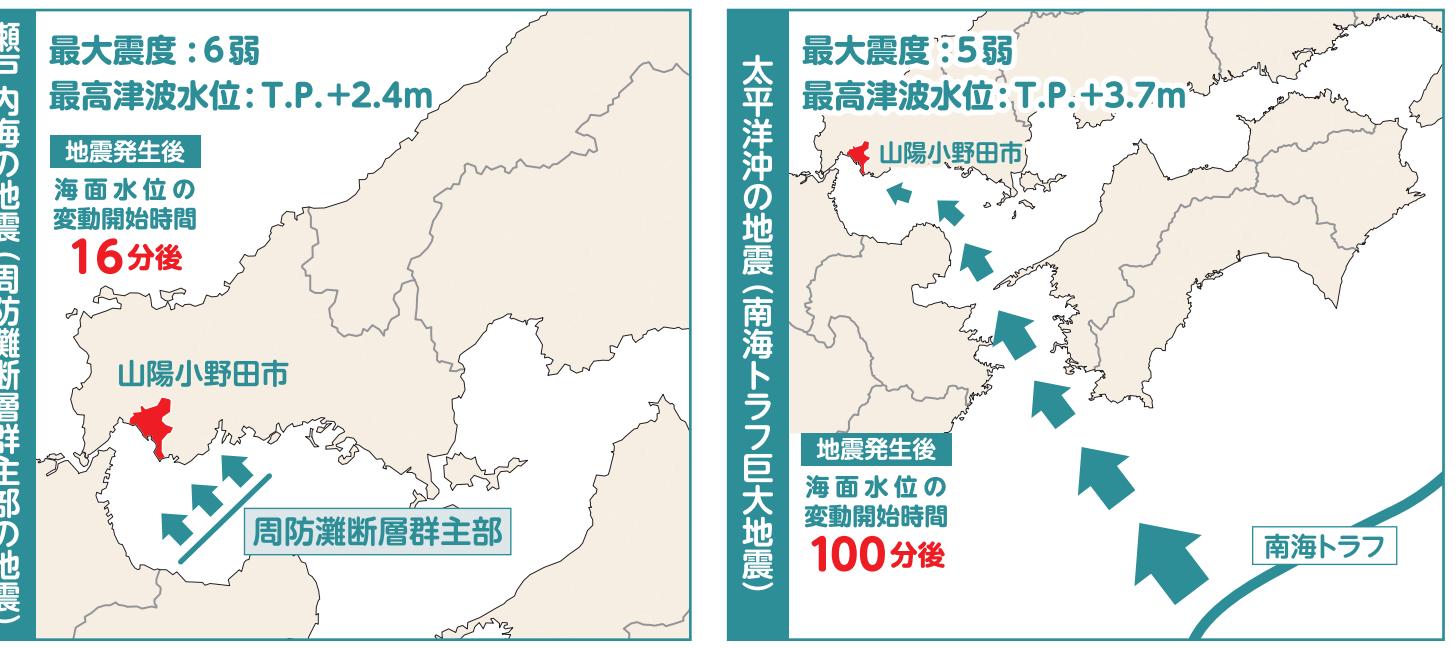
わが家の防災メモ

わが家の避難場所			
家族の避難場所			
（家族に出ていなかった場合）			
避難時の緊急連絡先			
持ち出し品の置き場所			

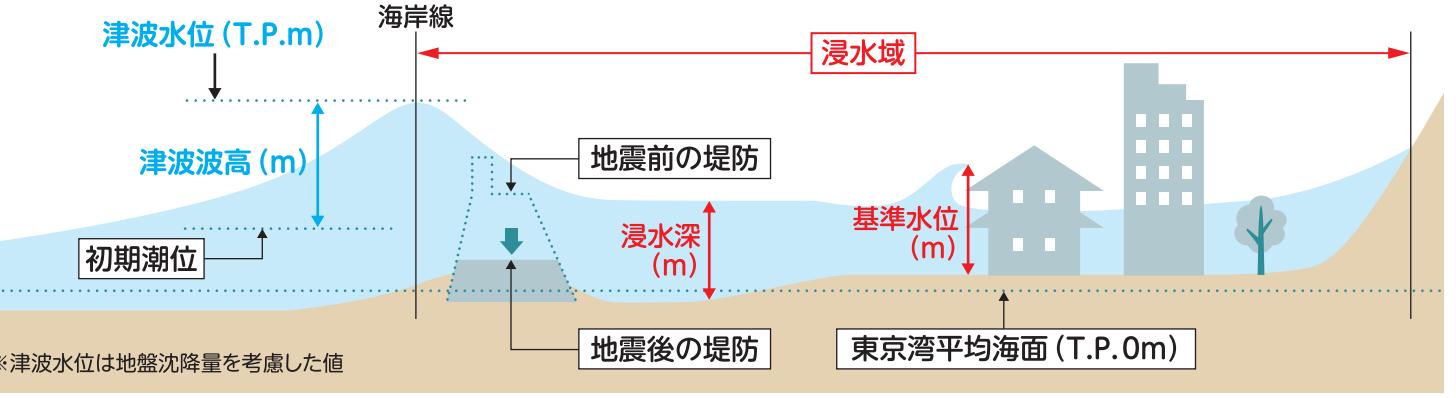
家族の名前			
姓・大 姓・平	生年月日	血液型	会社・学校などの電話番号
型	型	-	-
型	型	-	-
型	型	-	-
型	型	-	-
型	型	-	-

## 山陽小野田市で想定される巨大地震について

山陽小野田市では、津波の発生原因となる3つの地震が想定されています。  
※「山口県津波想定（瀬戸内海沿岸 平成25年12月公表）」（日本海沿岸 平成27年3月公表）により。



●海面水位の変動開始時間とは  
地震後の海面に±20cmの変化が生じるまでの時間です。あくまでも想定ですので、実際はこの時間どおりになるとは限りません。

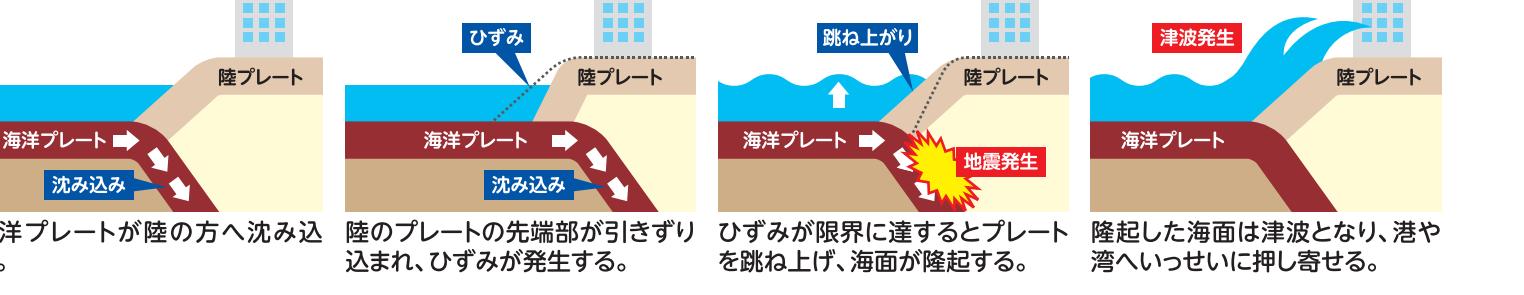


●津波波位は地盤沈降量を考慮した値

## 津波のことを知ろう

### ●津波発生のメカニズム

海底で大きな地震が起こると、プレートの運動によって海底が持ち上がり、それに伴い大量の海水が大きな津波となって沿岸まで到達します。

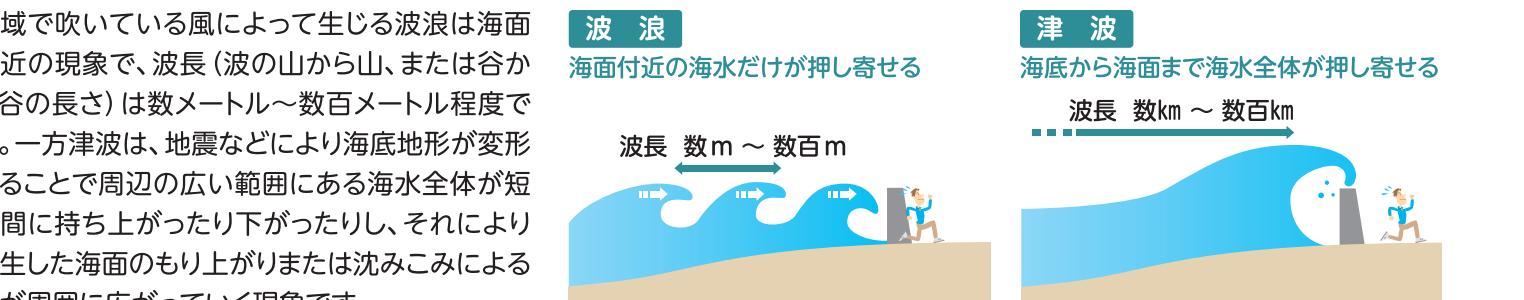


### ●津波の特徴

津波にはいくつかの特徴があります。津波の特徴を良く知り、いざという時に備えましょう。



### 波浪と津波の違い



### 避難時の心得

#### ●要配慮者と一緒に避難!

要配慮者は、避難に時間がかかるため、早めの避難が大切です。

災害時には、家族や地域の方と一緒に行動し、避難を支援しましょう。

#### ●2人以上で歩いて避難!

避難時は、河川に近くにいるや、けがのない道などは避けるとともに、雨などによりスマートフォンのバッテリーが外れたり、マンホールや側溝を見えない場合があります。棒などを使って足元を確認しながら、注意して避難しましょう。

#### ●安全な経路で足下に注意しながら避難!

避難時は、河川に近くにいるや、けがのない道などは避けるとともに、雨などによりスマートフォンのバッテリーが外れたり、マンホールや側溝を見えない場合があります。棒などを使って足元を確認しながら、注意して避難しましょう。

#### ●避難時の服装

避難時は、河川に近くにいるや、けがのない道などは避けるとともに、雨などによりスマートフォンのバッテリーが外れたり、マンホールや側溝を見えない場合があります。棒などを使って足元を確認しながら、注意して避難しましょう。

#### ●長靴・長ズボン等の安全な服を着用し、ヘルメットや防災グッズで保護しましょう。

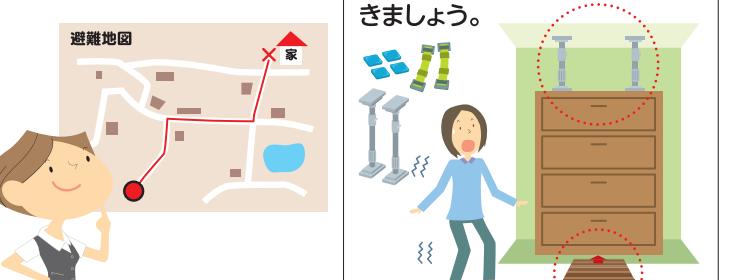
また、車での避難は、緊急車両の妨げや、水に流されるなど危険を伴いますので控えましょう。

#### ●荷物は最小限のものにし、徒歩で避難

荷物は、ひもでしめられる底の高い運動靴が最適です。長靴は中に水があり、歩きにくくなるため、やめましょう。

## 普段の準備と心得

安全に避難できるルートを確認しておきましょう。



非常用の持ち出し品を普段から準備しておきましょう。



正確な情報収集を心がけ、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



### いつ避難する

・強い揺れを感じた時。

・長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時。

・揺れを感じなくても、津波警報が出た時。

※津波が始まってからの避難は危険です！※油断大敵！

海沿いや川沿いの地域では、地震の揺れや液状化により堤防が壊れ、地震発生直後から津波の可能性があります。

また、海岸や河川に近づかなければなりません。

津波警報が解除されるまで、安全な場所から離れないでください。

・可能な限り高い場所へすぐ、安全な場所から離れないようしましょう。

・高台への避難が間に合わない時は、近くの高台で高い建物に緊急避難しましょう。

・津波警報が解除されるまで、高台や河川に近づかないようにしましょう。

・津波警報が解除されるまで、海岸や河川に近づかないようにしましょう。

・津波警報が解除されるまで、海岸や河川に近づかないようにしましょう。</